

東京芸術劇場シアターウエスト
＜ご利用にあたってのお願い＞
主催者様用

東京芸術劇場では、来館者、利用者、スタッフや従業員など、劇場を利用するすべての方の安全と安心のため、新型コロナウイルス感染拡大防止に関する取り組みを行っております。「**東京芸術劇場 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン**」(参照)

シアターウエストご利用にあたっては、劇場側も、清掃・消毒など、できる限りの対策を行っておりますが、主催者様も事前及び当日、下記事項の順守をお願いします。

＜事前に＞

□お客様に対し、事前に**【東京芸術劇場における新型コロナウイルス感染症対策とご来館のお客様へのお願い】**の周知をお願いします。

□当日3密(①密閉空間、②密集場所、③密接場面)が重なる環境にならないような運営をお願いします。(公演当日受付引き換えを避ける、観客と触れ合うような演出をしない等)

□感染予防に対応した座席対策をお願いします。家族等の一集団と他の集団との距離を確保した席配置、又は距離を置くことと同等の効果を有する措置等に努めてください。東京都の「**新型コロナウイルス感染症を乗り越えるためのロードマップ**」に従って定員の半分以下としてください。

＜ホールにて＞

□必ずマスクを着用してください。

□入場者に対する体温チェックをホール入口で実施してください。37.5℃以上の方には入場をお断りください。(備品としてサーモグラフィがございます。《有料》)

□入場列、受付列などはソーシャルディスタンスを保つ運営をお願いします。

□チケットは来場者が自身で半券を切って所定の入れ物に入れるようにしてください。

□パンフレット・チラシ・アンケート等の配布物の手渡しはできるだけお避けください。

□ブランケット等の貸出はございません。

□物品販売を行う場合は、ソーシャルディスタンスを確保のうえ整列させ、感染対策に留意してください。対面で販売を行う場合は、アクリル板や透明シート等により購買者との間の飛沫防止をしてください。多くの方が触れるようなサンプル品・見本品は取り扱いわないでください。

□サイン会等はお控えください。花束・プレゼント・差し入れ等も控えるようにお願いします。ロビー・楽屋のスタンド花もご遠慮ください。楽屋面会、出待ちなども極力ご遠慮ください。

□化粧室のジェットタオルや、ロビー内の冷水機は使用を停止しております。

□バーコーナーの営業はございません。

□舞台上でアフタートークを開催する場合は必ず事前にご相談ください。

□退場時は混雑しないよう順次退場を促してください。

<出演者及びスタッフについて>

- 3密にならないように人数調整や、当日の人員配置等も検討して実施してください。
- 来館前に検温をし、37.5℃以上の発熱がある場合や咳や咽頭痛などの症状がある等体調が優れない場合は来館をお控えください。
- 出演時以外はマスクを着用してください。咳エチケット、手洗い、手指等の消毒を周知徹底してください。
- 舞台技術スタッフの方々は、当劇場の【**舞台技術スタッフの皆さまへのお願い**】を順守していただき、搬入、仕込み、リハーサル、搬出等においても余裕のあるスケジュールと密な空間の防止に努めてください。
- 楽屋等では使い捨ての紙皿やコップを使用し、ゴミ袋は必ず封をしてください。
- ケータリング、炊き出し、ホットミール・サービスはご遠慮ください。
- 楽屋内も密にならないよう割り振るとともに、窓扉などを開け適切な換気を行ってください。

<その他>

- 万が一、感染の疑い・感染者が出た場合は、至急劇場担当者に連絡をお願いします。
- 保健所等から協力要請があった場合はご対応をお願いします。
- 劇場では感染予防の対策を講じますが、新型コロナウイルスの感染リスクがあることをご理解の上、ご利用をお願いします。
- 感染者が出た場合の施設消毒については、利用団体に費用をご負担いただく場合がありますので、上記対応の徹底をお願いします。

「東京版新型コロナ見守りサービス」について

東京芸術劇場では「東京版新型コロナ見守りサービス」を導入しております。東京都が提供するこのサービスは、新型コロナウイルスの市中感染リスクの低減や早期相談につなげ「新しい日常」の定着とともに、第2波への備えを強化していくためのものです。ご来館の際には、登録にご協力をお願いします。（登録は任意です。登録なしでもご入館はいただけます。）**新型コロナ見守りサービス概要**

※なお、本【**ご利用にあたってのお願い**】は、当劇場における「**新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン**」（令和2年6月10日策定）に基づき作成したものです。今後の対処方針の変更のほか、新型コロナウイルス感染状況の動向や専門家の知見、施設利用者等の意見を踏まえ、必要に応じ、適宜改訂を行うものとします。

2020年7月31日

東京芸術劇場